

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

高槻駅周辺地区(2期)

(都市再構築戦略事業)

平成30年 3月

大阪府高槻市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	通行者数	人/日	478,178	497,721	391,080	確定	△	あり ●	454,627	H29年11月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全国都市交通特性調査によると、平成17年から平成22年にかけて増加傾向であった外出率が、平成22年から平成27年にかけて、高齢化等に伴い全国的に大きく減少している。また、本市においても、中心市街地の通行者数は平成22年まで増加傾向であったが、平成25年以降は減少傾向となっている。目標設定時において、このような減少傾向が反映できず、目標値の設定が過大となったことが、達成できなかった要因であると考えられる。一方で、全国的に通行者数が減少傾向である状況下において、事業箇所周辺の調査地点においては通行者数の増加が見られた。こうしたことから、「にぎわい」ある駅周辺の環境づくりに向けて、一定の整備効果が発揮された。
指標2	道路に関する満足度	%	48.9	57.2	58	確定 ●	○	あり -	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR高槻駅周辺の整備や道路事業を重層的に行ったことで駅周辺の魅力や安全性、快適性の向上につながり、道路の満足度が増加した。特に、子育て世代である30～40代、高齢者世代である70代以上の満足度の増加率が高く、誰もが安全・安心に移動できる快適な道路空間づくりに向けて、整備効果が見られた。
指標3	市民交流施設の利用者件数	件	36,111	37,170	37,263	確定 ●	○	あり -	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民交流施設の整備やバリアフリー化を行うことで施設の利便性が向上し、市民交流施設の利用件数の増加に寄与した。新たに整備された桃園コミュニティセンターでは、食育講座や子育てサロンといった交流活動が行われ、高槻市立文化会館(文化ホール)では、ジャズストリートの会場となる等、市民協働に関わる事業が実施され、市民の交流や活動を活発化させた。
指標4	次代を担う世代の満足度	%	73.5	74.5	72.6	確定	△	あり ●	81.8	H29年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	保育施設や市民交流施設等の整備を重層的に行ったことで、目標を達成することができた。年代別にみると特に本市の次代を担う年代(20代、30代、40代)において目標値を大きく上回っており、生産年齢人口の定住に向けた整備効果が得られたと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	駅周辺のにぎわい	人/日	68.8	75.3	確定 ●			-	-		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	高槻の玄関口にふさわしいにぎわいのある駅周辺の環境づくりが行われ、にぎわいを実感する人の割合が増加した。	
その他の数値指標2	子どもが健やかに育つ環境が整っていると思う割合	%	63.9	71.7	確定 ●			-	-		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	保育園施設や市民交流施設等の整備を重ねて行ったことで、子育て環境が向上していると感じる割合が増加した。	
その他の数値指標3					確定 ●						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	更なるにぎわいの創出・機能強化	JR高槻駅南駅前広場において、屋根や歩道、身体障がい者用の乗降スペースの整備を実施した。	高槻の玄関口にふさわしい高質な空間を形成するとともに、安全・快適な道路空間づくりを行うことで、事後評価時点からの駅周辺の通行者数の増加や次代を担う世代が住みたいと思う割合の増加に寄与した。	
	更なる安全・安心・快適な道路空間づくり	高槻駅周辺において、高槻町1号線の電線共同溝の整備、歩道の拡幅及び更新を実施した。	高槻駅周辺において、良好な街並みの形成や防災機能の向上、交通安全に配慮した道路空間が形成され、事後評価時点からの駅周辺の通行者数の増加に寄与した。	
	市民の交流や活動の活発化	平成31年にオープン予定の安満遺跡公園の隣接地に、教育・保育環境づくりの中核を担う「高槻子ども未来館」の整備を推進するとともに、「子育て世代応援プログラム」により、子育て世代をターゲットに本市の魅力について情報を発信した。	教育・保育環境づくりの中核を担う「高槻子ども未来館」を高槻駅周辺に配置することで拠点機能の強化を図るとともに、子育て世代への効果的な情報発信を行うことにより、次代を担う世代が住みたいと思う割合の増加に寄与した。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅周辺の機能強化を継続し、市の玄関口としての魅力的な空間形成を早期実現	阪急高槻市駅北駅前広場において、歩道改良や点字ブロックの整備等を実施している。(3期計画において平成29年度工事完成予定。)	2期計画において、人工デッキの美装化や駅前広場の整備等、JR高槻駅南側の整備を実施した。今後は、阪急高槻市駅周辺の整備を実施することで、エリア全体として、拠点機能の強化や更なるにぎわいの向上を図る。	引き続き、拠点機能の強化や更なるにぎわいの向上に向けた取組の継続が必要。
	駅からまちへ、まちの中の移動においても快適に移動できるようなアクセス機能の強化	城跡公園と安満遺跡公園をつなぐ動線上に位置する松原公園において、歴史的な景観を保全しながら、安全で歩きやすい公園に改修するための設計を実施している。(3期計画において平成30年度工事完成予定。)	2期計画において、高槻駅周辺の道路改良工事やバリアフリー化等を実施した。今後は、高槻子ども未来館や安満遺跡公園の整備、市民会館建替えや城跡公園再整備等を見据え、高槻駅周辺の拠点間をつなぎ更なる回遊性やにぎわいの向上を図る。	引き続き、駅周辺の回遊性の向上や更なるにぎわいの向上に向けた取組の継続が必要。
	子育て世代の住みやすい環境づくり、市民交流の機能強化	平成31年にオープン予定の安満遺跡公園の隣接地に、教育・保育環境づくりの中核を担う「高槻子ども未来館」の整備を推進している。(3期計画において平成30年度工事完成予定。)	2期計画において、保育園やコミュニティセンターの新築工事を実施した。今後は、「高槻子ども未来館」を高槻駅周辺に配置することで拠点機能の強化を図り、保護者や子どもにとって良い環境が整い、住みやすいと思う割合を増加させる。	JR高槻駅南側から安満遺跡公園や隣接する高槻子ども未来館へ向かう歩道が狭く、老朽化も進んでいるため、安全・安心・快適に移動できる動線の確保が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—	—	—	—